



忘れ物が多い…

- ◎ 授業に必要な教科書や学習用具を忘れてしまう、学校で配られたプリント類を持ち帰らない、提出物を忘れてしまうなど、忘れ物のことで困っている子供たち（その親御さんも）が多いです。忘れ物は、態度、意欲などの問題にされやすいですが、「跳び箱が苦手」「水泳が苦手」と同じように、もともともっている成長や発達の特徴であることもあります。
- ◎ 「気をつけなさい」「しっかりしなさい」と言い続けても、子供の努力を期待しても、あまり効果はありません。それどころか、子供は注意されたり叱られたりが続くと、気持ちが落ち込み、自信や意欲も失っていくかもしれません。

対応は…

- ◇ 子供に努力を促すよりも、大人が手伝って、うまくいく状況をつくる。そのときは、少しでもいいので、子供自身の仕事を最後に“仕上げ”として残しておくといでしょう。「仕上げは子供自身の手で！」
- ◇ 跳び箱や水泳のときと同じように、うまくいくようになるまでには時間がかかります。ある程度成長を待つことが必要です。忘れたときにどうするか？を考え、「先生に相談する」「友達に借りる」などの対応のスキルを身につけることも大切です。

※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。
子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。